

令和3年第1回定例会は、2月26日から3月18日までの21日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、13名の議員が一般質問を行い、市政について活発な議論が行われました。最終日には各常任委員会および予算特別委員会の委員長より報告を受け、討論、採決を行い、全議案について可決しました。また、議員発議が2件提出され、いずれも全会一致により原案可決されました。



▲起立採決※（3月18日本会議）

※議案に対して、議長が議員に賛否の意思表示を求める方法のひとつです。
賛成は「起立」、反対は「着座のまま」です。



令和3年度の新規事業

新

まちづくり構想基本計画策定事業

2,163万円



茨城空港を活かした産業の振興は重要度が高く、本市の魅力ある観光資源などの周知・PRを推進し、地元への経済波及効果を増加させるため、令和2年3月に「小美玉市まちづくり構想」を策定しました。令和3年度は、まちづくり構想の実現に向け、基本計画を策定します。
(商工観光課)

新

危険ブロック塀等撤去補助金

100万円



所有者が、危険と診断されたブロック塀等を撤去若しくは一部撤去する費用の一部（2/3以内・限度額10万円）を補助します。また、災害時にブロック塀倒壊などで生じる危険から、通学路を登下校する児童生徒や住民避難、救助・緊急・医療・消火活動、緊急物資輸送を行う災害時主要道路を守ります。
(都市整備課)

新

新型コロナワクチン接種事業

1億5,925万円



新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種を、ワクチン流通が開始され次第、速やかに市民の方が接種できる体制を整え、新型コロナウイルス感染症の収束に努めます。
(健康増進課)



▲ワクチン集団接種シミュレーション

新

公共施設予約システム事業 176万円

パソコンやスマートフォンから空き照会や公共施設の予約ができるほか、学校体育施設において、物理鍵から電子錠へ変更し、予約システムと連動させることにより、施設の利用申請や鍵の受け渡しなど対面での手続きを減らし、接触機会の低減を図ります。
(スポーツ推進課)



一般会計当初予算 対前年度比 2.9%減

【会計別予算】

会計別		令和3年度	令和2年度	増減率	
一般会計		237億7,800	244億9,600	△2.9	
特別会計	国民健康保険(事業)	51億1,691	51億6,171	△0.9	
	国民健康保険(直診)	—	1億2,228	皆減	
	後期高齢者医療保険	6億1,481	5億8,423	5.2	
	農業集落排水	3億2,348	3億120	7.4	
	戸別浄化槽	3,667	3,543	3.5	
	霊園	1,495	1,558	△4.0	
	介護保険(事業)	40億1,594	39億6,700	1.2	
	介護保険(サービス)	661	625	5.8	
	小計	339億737	346億8,968	△2.3	
	企業会計	水道	収益的収入	8億5,330	8億4,665
収益的支出			8億2,683	8億1,161	1.9
資本的		収入	5億8,752	5億5,669	5.5
		支出	8億8,401	9億5,932	△7.9
下水道		収益的収入	12億3,047	11億8,446	3.9
		収益的支出	11億1,237	11億3,508	△2.0
		資本的収入	7億487	7億762	△0.4
		資本的支出	11億6,629	11億2,004	4.1
小計		収入	33億7,615	32億9,542	2.4
支出		39億8,950	40億2,605	△0.9	
歳入(収入)計		372億8,352	379億8,510	△1.8	
歳出(支出)計		378億9,687	387億1,573	△2.1	

(単位：万円・%)

拡充事業

小中学校情報教育支援事業 7,973万円

国が進めるGIGAスクール構想に基づく各小中校に対する学習用端末の児童生徒1人1台分配備や校内無線LANなどのICT環境整備 (教育指導課)

生活支援事業 1,946万円

日常生活上援助を必要とする「ひとり暮らし高齢者」等で自動車免許を所持していない70歳以上の方に対する外出支援サービスの拡充 (介護福祉課)

防犯施設整備事業 1,206万円

新規の県補助金を活用しての防犯カメラを設置 (防災管理課)

継続事業

ふるさと寄附金事業 9,821万円

自分自身にゆかりのある、または関心のある自治体を応援・貢献したいと思う方々が、善意の気持ちを寄附金という形にするもの (企画調整課)

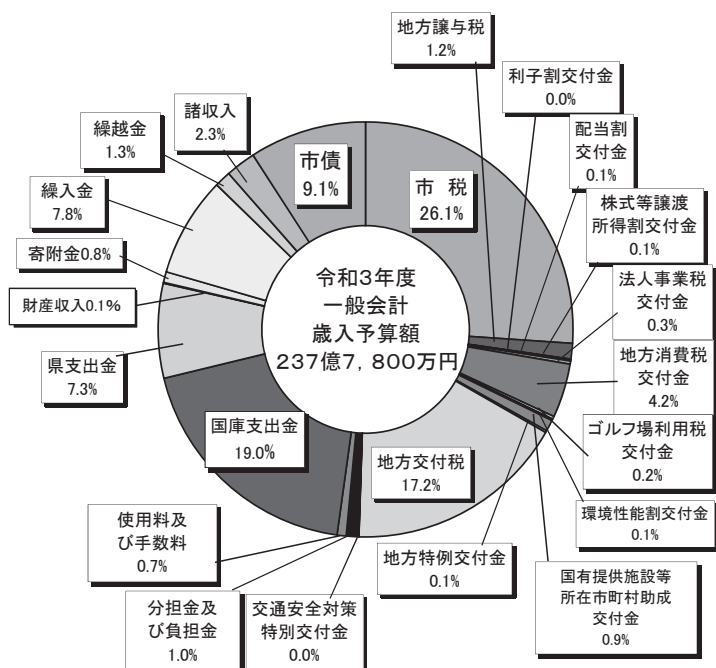
ごみ処理広域化事業 2億1,123万円

3市1町(小美玉市、石岡市、かすみがうら市、茨城町)による広域化した枠組みを整え、新広域ごみ処理施設「霞台クリーンセンターみらい」は令和3年4月から稼働 (環境課)

水道配水管整備事業 6億2,122万円

安全・安心なおいしい水の安定供給を図るため、国庫補助金などの特定財源を活用して、老朽化した配水管を耐震性のある管種へ更新工事を行うもの (水道課)

【一般会計歳入】



【一般会計歳出】

